

令和7年生駒市教育委員会第3回定例会会議録

1 日 時 令和7年3月21日(金) 午前9時30分～午前10時56分

2 場 所 生駒市役所 大会議室

3 審査事項

- (1) 報告第4号 臨時代理につき承認を求めることについて(令和7年生駒市議会第2回(3月)定例会提出議案の意見について)
- (2) 議案第11号 熱中症予防・対応マニュアルの改定について
- (3) 議案第12号 生駒市新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針について
- (4) 議案第13号 生駒市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
- (5) 議案第14号 令和7年度生駒市社会教育基本方針及び重点目標について
- (6) 議案第8号 令和7年度第3次生駒市教育大綱アクションプランの策定について

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委員(教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委員	中 川 義 三
委員	吉 尾 典 子		

5 教育委員会欠席者

委員	レイノルズあい
----	---------

5 事務局職員出席者

教育部長	鎌 田 明 年	生涯学習部長	坂 谷 操
教育部次長	松 田 悟	教育総務課長	山 本 英 樹
教育指導課長	花 山 浩 一	幼保こども園課指導主事	牧 野 由 美
教育政策室長兼務		幼保こども園課指導主事	長 崎 文
児童総務課長	武 元 一 真	生涯学習課長	井 川 啓一郎
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	松 田 美奈子
学校給食センター所長	桐 坂 昇 司	教育指導課課長補佐	中 田 博 久
こども園準備室長	小 林 奈津子	図書館館長	西 野 貴 子
図書館南分館長	中 川 公 子	図書館北分館長	谷 江 真美子
生駒駅前図書室長	入 井 知 子	スポーツ振興課課長補佐	大 畑 由 紀
教育総務課(書記)	吉 川 優 香	教育総務課(書記)	寺 川 寧 々

6 傍聴者0名

午前9時30分 開会

○開会宣告

○日程第1 前々回及び前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

○日程第3 報告第4号 臨時代理につき承認を求めることについて（令和7年生駒市議会第2回（3月）定例会提出議案の意見について）

・令和7年生駒市議会第2回（3月）定例会提出議案の意見について、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p1～3>

（質疑）

中川委員：小学校の卒業式に呼ばれていった際、体育館の中で暖房施設は使用されていたがやはり寒かった。教育委員会が学校の様子を見ていただき、より良くしていただくことはとても大切である。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第4 議案第11号 熱中症予防・対応マニュアルの改定について

・熱中症予防・対応マニュアルの改定について、花山教育指導課長から説明

<参照：議案書p4、別冊1>

（質疑）

中川委員：熱中症について、マスコミでは取り上げられる機会が減ったが、危険性があり重要である。学校で効率的に対応できる形を示していただけるのがありがたい。アップデートし対応していくことが大事である。

飯島委員：マニュアルは同じものを使っていくのではなく、見直しをしていただくことが、マニュアルの実効性を保つために非常に大切である。マニュアルについて、3から4ページは急いでいるときに、見やすいように体裁を整えていただいていると思うが、1、2、6ページは文字が並んでおり、行間が少し狭く感じる。焦っているときに読み飛ばすことが無いとは言えないので、調整していただきたい。

花山課長：ご意見の通り修正を加える。5ページの「連絡体制」のところだが、「事故発生校」の右、「救急要請相談」の隣に、「複数名の熱中症疑いありの場合も」という文言を追加している。

吉尾委員：3～4ページの図について、学校訪問の際に、ポスター掲示している学校もあったように思う。冊子にしてしまうと見る機会が減ることもあるので、

可能であれば大きく印刷して保健室の近くなど、対応しやすい場所に掲示するということも学校ごとに考えていただけたらと思う。

原井教育長：ラミネートをして掲示するなどの対応はすべての学校でしているのか。

花山課長：すべての学校で掲示しているわけではないが今後ラミネートをするなどして対応したい。

審議結果 【修正のうえ可決】

○日程第5 議案第12号 生駒市新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針について

・生駒市新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針について、西スポーツ振興課長から説明

<参照：議案書p5、別冊2>

(質疑)

飯島委員：始まったばかりのことであり、方針に合致しないものも度々出てくるかもしれないため調整等お願いしたい。「はじめに」と「おわりに」をですます調に揃えていただきたい。また、いくつかの項目が「○」で箇条書きとなっているが、「はじめに」の部分は文章につながりがあるため「○」は必要ない。「はじめに」と2ページの「今後のめざす姿」において、一文が3,4行になっているところが読みづらい印象である。可能であれば1行半くらいから2行に収めていただきたい。

原井教育長：事務局で修正いただきたい。

吉尾委員：昨年9月に市町村教育委員会研究協議会で地域クラブの分科会に参加した。市町村の状況を聞いて感じたのは、地域ごとに集まる場合、子どもたちの交通手段や交通費の負担、部活動が学校教育から社会教育になると保護者負担が増えるのではないかということだ。課題として心配なのが指導者の育成である。協議会に参加する前に花山課長から聞いた話では、生駒市は将来を見据えてシステム化がされていると聞いた。これは地域との連携に関係するので、地域の理解、協力が大きいと思われる。それが学校のクラブにどう関わってくるのかが分かるような方針と人材確保が重要である。国や県からの支援や補助を受けるのも一つだと考える。

原井教育長：人材確保について意見はあるか。

西課長：現在、市の方でスポーツリーダーバンクを設置している。その登録者の活用と学校の先生方の協力も必要かと考えている。学校の先生にアンケートを取らせていただき先生用のバンク制度も考え、同時に市スポーツ協会と連携しながら新たな人材の発掘を進めていきたい。来週、スポーツ推進審議会があるのでそちらでも意見を聞きたい。クラブ数も増えていくことが想定されるので、調整を図っていきたい。

原井教育長：学校だけではできない地域移行であるのでスポーツ推進審議会等で審議いただき理解とご協力をいただきたい。

中川委員：子ども達が少なくなり、このような新しい形が必要であるだろう。市民のスポーツ大会の開会式では武道系等、様々なクラブがあり沢山の子ども達が参加する。現在活動されている団体とも調整いただき、子どもたちがいろいろと興味を持ち特性を活かせる形で広げていただければと思う。

西課長：新しい枠組みの中でラグビーやレスリングを実施している。武道系については、生駒市スポーツ協会に加盟されている競技団体として剣道協会、なぎなた連盟も興味をもっていただいている。

審議結果 【継続審議】

○日程第6 議案第13号 生駒市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について

・生駒市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p6、資料1>

(質疑)なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第7 議案第14号 令和7年度生駒市社会教育基本方針及び重点目標について

・令和7年度生駒市社会教育基本方針及び重点目標について、井川生涯学習課長から説明

<参照：議案書p7、別冊3>

(質疑)

吉尾委員：目標が明確になった。第3次教育大綱に沿った方針が分かりやすく、進めやすいと思った。具体的な内容もアクションプランとの整合性があるかが大事である。学校も、地域とのつながりが深くなるならば、社会教育、学校教育関係なく、どちらも連携しながら、社会教育基本方針を踏まえ理解し合いながら事業が進んでいくと期待している。

中川委員：体育施設の開放の見直しについて、キャッシュレスやキーレスなど使いやすくしていただきたい。運動場の一部だけを使いたい等の要請にもフレキシブルな対応が可能な仕組みをお願いしたい。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第8 議案第8号 令和7年度第3次生駒市教育大綱アクションプランの策定について

・令和7年度第3次生駒市教育大綱アクションプランの策定について、鍬田教育部長から説明

<参照：議案書p8、別冊4>

(質疑)

吉尾委員：目標が明確になったと感じている。5ページの保幼小接続推進事業について、令和6年度の5月の定例会資料では取り組み内容が「接続カリキュラムを見直し活用する」の1つであったが、今回4項目になっている。最初に設定したものから新たに4項目になっているのはどういう経緯か。

牧野指導主事：取組内容については今年度、実際に行ったものを記載している。

鍬田部長：令和6年度のアクションプランの中にもこの4項目を掲げていた。実際にその取組を実行したので、令和6年度の欄に同じ項目を記載している。

飯島委員：読みやすくなるよう修正いただいた。アクションプランを細かく事業ごとに実現できたかどうか評価すれば良いが、教育大綱に基づいて本来の意味で実現できたかどうかを今後評価の中に含めていただきたい。また、PDFの中に中間色などを使っている部分があるが、アクションプランの内容については引き続き取り組む場合、赤い矢印が使われている。赤は強調表示であるが、ネガティブであったり危険であるイメージとして使われる色なのでもう少しふさわしい色があれば次年度から検討いただきたい。

中川委員：6ページだが、新規事業の令和6年度の部分が白紙になっているが令和7年度からの新規であるので斜線を入れてはどうか。23ページの学校屋内運動場空調設備整備事業も7年度に終了するものであれば、令和8年度と令和9年度以降は斜線を入れてはどうか。24ページの講師不足対策の目標値に10人と書いてあるのは講師不足の予想数か。もしそうであれば説明があれば良い。不足10名の表記の方がわかりやすい。令和7年度の予想不足数の目標値が0になっているが、表の見方が分からない。

山本課長：令和7年度の0人は目標である。10人というのは、作成時点で確定している令和5年2月の数字を記載している。目標値ではなく現状値が10人である。令和6年度2月の時点では実績値が2人である。

原井教育長：目標名と現状値の区別が分かりづらい。内容によって目標値の場合もあれば、目標がはっきりしているものは現状値の場合もある。目標値なのか現状値なのかを分かりやすく調整したい。

吉尾委員：7ページの下、デジタルシティズンシップ教育の推進について、情報活用力テラシーの自己評価の部分において、「高まった56.7%」とあるがこれは教職員か児童生徒かどちらか。

花山課長：児童生徒に取ったアンケートをパーセンテージで表したものである。

原井教育長：分かるように児童生徒等の記載をお願いしたい。

中川委員：24ページの講師不足対策について、令和9年度が継続であれば矢印と人数を入れ、終了するならば斜線を入れていただきたい。

原井教育長：中川委員の指摘通り、終了した令和9年度のところは斜線を入れる。

花山課長：現状を見て見直していく。

原井教育長：指摘のあったところを検証しながら修正する。

審議結果 【修正のうえ可決】

○日程第9号 その他

・認定こども園壱分こども園整備経過報告と今後の予定について、小林幼保こども園準備室長から説明

<参照：その他資料1>

(質疑)

吉尾委員：1つ区切りが付き、関係者の方々も前を向いて進んでいけるのではないかと同時に、新しくなばた幼稚園で保育が始まるので様々な課題があるだろう。状況について都度教えていただきたい。

・令和7年4月行事予定について、山本教育総務課長、井川生涯学習課長から説明
(質疑)なし

○閉会宣告

午前10時56分 閉会